

## 研究における情報の公開について

大分大学福祉健康科学部では下記の研究を実施しております。研究対象者となられる方それぞれから同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究機関名	大分大学
研究課題名	鼠径部痛症候群の発症要因の解明に関する研究
研究期間	倫理委員会承認後 ～2024 年 3 月まで
研究の意義、目的	本研究では鼠径部痛を有する者において、スクワットや歩行といった動作における股関節可動性と腰椎などの他関節可動性との関連性から、鼠径部痛症候群の発症要因を明らかにする。 本研究により、スクワット・歩行といったそれぞれの動作において、健常者に対して鼠径部痛を有する者がどのような戦略を用いているか明らかになれば、鼠径部痛を有する者に対する的確な動作指導や理学療法を提案できる。これにより、鼠径部痛を有する者に対する進行予防や再発予防に貢献できる。
方法（使用する資料・情報）	赤外線反射マーカを被験者の身体の合計 51 箇所貼付し、運動学的データ（関節角度、身体重心座標など）をカメラ 10 台からなる三次元動作解析システム、運動力学的データ（圧中心座標など）を 2 基の床反力計、筋活動を筋電計を用いて取得する。
個人情報の取り扱い	得られたデータから氏名、生年月日などの個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号を付し、対応表を作成し、匿名化を行う。データ解析の際には、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含まない。対応表、研究同意書および質問紙は研究責任者が、研究室内の施錠可能な保管庫内に厳重に保管し、対応表と匿名化された情報は別の場所で管理する。
研究への参加について	研究への協力は研究対象者の自由意思によるものとする。参加希望の連絡を受けた際にも対象者には説明書にて依頼し、書面および口頭で予め研究目的や情報の取り扱い、倫理的配慮等について説明する。同時に、研究への参加は本人の自由意思によるものであり、いつ参加の意思を撤回してもいかなる不利益も生じないことを説明する。同意の得られた対象者に対しては、研究同意書に署名を得て、研究を行う。未成年者の場合は、本人の同意があっても親権者から研究への参加の拒否が求められた場合には、当該未成年者に対する計測を実施しない。
研究責任者問合せ先	阿南 雅也 大分大学福祉健康科学部理学療法コース・097-554-6115

※研究責任者は 1 枚にまとまるように記載すること